

放課後等デイサービス いちばん星 事業所自己評価アンケート結果

期間 令和2年1月24日～2月3日 職員5名中5名回答

作成日：令和2年2月29日

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	一日の利用人数の増加に伴い、活動内容に応じて工夫しながら進めているが、手狭になり適切なスペースとは言えない状況。今後、子ども達が伸び伸び過ごせる場所の確保に努めていきたい。人数の多い日は、近所の千歳会館を借用する等、配慮していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	職員の配置については、児童の利用時間帯に施設見学や関係機関等の会議があり、一時的に手薄になる時間帯が生じるので、非常勤の職員を配置し対応していきます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	民家を活用している為、普通の生活に近い状況であり段差などは多い。現在のところ、工夫しながら行っているが、今後必要に応じて整備していきたい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	業務改善は、ミーティングの中で随時取り組んでいるが、定期的に見直す機会を設けていく。（職員会議）個人の気付きに関しても、全体で共有することで協力体制を図っていく。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の皆様から記入いただいたアンケートの中で、改善できることはすぐに取り入れていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価結果は、ホームページに掲載していましたが、今年度は保護者向けに集計結果をプリントにまとめて配布させていただきます。併せて、ホームページにも掲載いたします。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今年度より、地域の有識者2名に第三者委員としてご意見を頂きながら、業務改善を図りたいと思っています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部研修、内部研修の機会を持ち、職員個々のスキルアップとチームとしてのスキルアップ。発達特性の理解や情報共有などに努めています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	定期的にあセスメントを行い、子ども達一人一人に応じた個別支援計画の作成に努めています。保護者の方の意見も頂きながら、見直し等も行っています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	子どもの適応行動の状況を図る為に、児童に合ったアセスメントツールを導入し、適切な支援の参考に取り入れていきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	毎月の活動会議の中で、職員みんなの意見を取り入れた、活動プログラムを立案しています。子ども達の要望も取り入れ、主体的に取り組めることも大切にしています。

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	活動の中でも、少しずつレベルアップできるような内容で、変化させながら取り組んでいます。
適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	ミーティングの中で、個別の目標やねらいを確認し、支援担当スタッフも決めて受け入れるようにし、きめ細かい対応を心がけていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1日の日課を構造化し、小集団での活動やフリータイムの個別活動の時間に、見通しを持てるようにしています。日課にのれないお子さんには、個別に対応をしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝礼で必ず打ち合わせを行い、活動内容と役割分担の確認、利用児童の情報共有をしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援終了後には、1日の振り返りを話し合い、送迎時の状況や保護者の方からの情報を共有するようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録を保護者の方に見ていただき、支援の様子をお伝えしています。今後も、お子さんの成長や変化を正しく記録するよう努めます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	モニタリングを行い、計画の見直しを随時進めています。お仕事で多忙な親御さんには、送迎時や電話などで聞き取りを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	ガイドラインにある ア、自立支援と日常生活の充実のための活動 イ、創作活動 ウ、地域交流の機会の提供 エ、余暇の提供 これらを、活動の中でバランスよく取り入れるようにしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に適した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達管理責任者が、調整会議、担当者会議に参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校のコーディネーターや担任の先生と、随時連携を図りながら支援している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療機関との連携が必要な場合は、利用時の様子等をまとめて受診時に持参してもらい、支援についてのアドバイスをいただいています。OT、PT、STの療育センターの指導にも医療同行させていただき、支援に活かしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	発達支援センターの、担当職員の先生から情報をいただき、研修会の参加機会もある。今後も、就学する児童への支援で、情報共有し継続した支援に努めていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在、学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童はいないが、今後そのような機会があれば、連携した切れ目のない支援をしたいと考えている。

	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等との専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	児童発達支援センターからの助言をいただき、今後も連携を継続していきたい。
関係機関や保護者との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもたちと活動する機会があるか	美馬牛少年団との春の清掃活動に参加したり、地域のお祭りや分館行事などにも参加し、地域の子供達と関わる機会を持っている。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	自立支援協議会の委員として、会議の際は出席している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	子どもたちの様子は、提供記録や送迎時の会話の中で伝えている。本人の前で伝えられないことに関しては、随時電話連絡をしている。
	②⑨	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者に対する相談支援は、随時行っている。毎月開催している子育てサロン「ゆっくりん」では、育児の悩みや相談などを受ける機会となっている。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時、運営規定、支援の内容、利用者負担等については説明しています。不明な点があれば、いつでもご連絡下さい。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方からご相談いただいた際は、ご家庭を訪問したり電話連絡をさせていただいています。時に、連絡帳に記載があるときは返信文を記入しています。職員も一緒に、子ども達に対する支援について考えていきたいと思っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在のところ、父母の会や保護者会への要望はない為、子育てサロンや地域交流の参加をお誘いし、個別に保護者の方たちの橋渡しをさせていただいています。また、引きこもり、不登校の座談会などに場所を開放し、保護者同士が話し合える機会を設けている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の整備をするとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	子どもや保護者の方から苦情があった際は、迅速に対応するよう心がけています。また、事故報告書等の作成も行い、職員間で課題解決と情報共有し、再発防止にも取り組んでいる。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月、いちばん星通信を発行し、保護者、関係機関、地域の皆様に配布・回覧している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	個人情報に関しては、守秘義務を徹底している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	意思の疎通や情報伝達が難しいお子さんに対しては、視覚化する等の工夫をしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	年に2回(9月、3月中止)バザーを開催し、毎週水曜日の地域交流にて、誰でも参加できる場所として開放。

非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時マニュアルや感染症予防マニュアルは、保護者の方にも知っていただく機会を設けていきたいと考えています。新規利用のご家庭には、契約時にお伝えする。
非常時等の対応	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難訓練は、年に3回実施（火災、地震、風雪等）
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止のための内部研修を行い、虐待チェックリストを実施する等して、意識化を図っている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現在、支援の中で拘束を必要とする対象児童は居ないが、今後身の安全を守る意味で、必要性があれば計画に記載する。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	食物アレルギーについては、保護者からの聞き取りの元、配慮が必要な児童に関して、おやつや食育の中で除去して提供するようにしている。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事故を未然に防ぐため、情報共有はしているが、ヒヤリハットの事例集は作成していない。今後、職員が気付いたときにすぐに記入できるようにする。